



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 ニッキ  
 コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 和田 孝  
 (氏名) 田中 宣夫

上場取引所 東  
 TEL 046-285-0227

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,814	△31.8	△144	—	△140	—	△172	—
2020年3月期第2四半期	4,126	3.4	402	16.6	429	△17.1	270	△31.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 73百万円 (343.5%) 2020年3月期第2四半期 16百万円 (△95.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△90.94	—
2020年3月期第2四半期	143.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	12,998	7,462	57.2	3,909.73
2020年3月期	13,056	7,530	57.4	3,959.96

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,438百万円 2020年3月期 7,494百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△15.0	85	△86.7	50	△93.0	10	△98.0	5.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,000,000 株	2020年3月期	2,000,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	97,336 株	2020年3月期	107,336 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,896,831 株	2020年3月期2Q	1,886,660 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞後、経済活動のレベルが段階的に引き上げられる中で、個人消費を中心に一部では持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、世界経済も、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、米中貿易摩擦の長期化等の下振れ要因も併存しており、先行きは一段と不透明感を増しております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の拡大や中国エンジンメーカーの開発ずれ込み等の影響により、連結売上高は28億1千4百万円（前年同期比31.8%減少）となりました。

損益につきましては、引き続き生産体制の見直しや固定費の削減等に努めて参りましたが、売上高減少の影響が大きく、営業損失は1億4千4百万円（前年同期は4億2百万円の営業利益）、経常損失は1億4千万円（前年同期は4億2千9百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億7千2百万円（前年同期は2億7千万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ガス機器事業は、中国市場向け製品の販売減少等により、売上高は11億2千1百万円（同39.7%減少）、セグメント損失は2億4千4百万円（前年同期は1億7千万円の利益）となりました。

汎用機器事業は、主要マーケットである米国市場の販売減少等により、売上高は12億1千9百万円（同29.7%減少）、セグメント損失は8千3百万円（前年同期は3千6百万円の利益）となりました。

自動車機器事業は、ロックダウン等の影響によるインド市場の販売減少やフォークリフト向けキャブレターの販売減少等により、売上高は1億9千6百万円（同22.4%減少）、セグメント損失は2千5百万円（前年同期は2千万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業は、売上高は2億7千6百万円（同0.1%減少）、セグメント利益は2億8百万円（同2.9%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

##### （資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、129億9千8百万円と前連結会計年度末と比べて5千7百万円減少しました。主な増減項目は、現金及び預金の減少（5億4千9百万円）、投資有価証券の増加（4億2千3百万円）、その他の有形固定資産の増加（2億9千1百万円）、受取手形及び売掛金の減少（8千8百万円）、仕掛品の減少（7千万円）、電子記録債権の減少（6千9百万円）であります。

##### （負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、55億3千6百万円と前連結会計年度末と比べて1千万円増加しました。主な増減項目は、その他の流動負債の増加（1億7千2百万円）、その他の固定負債の増加（1億2千7百万円）、電子記録債務の減少（1億2千6百万円）、短期借入金の減少（1億4百万円）であります。

##### （純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、74億6千2百万円と前連結会計年度末と比べて6千8百万円減少しました。主な増減項目は、利益剰余金の減少（3億3千7百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（2億9千5百万円）であります。

#### ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における、現金及び現金同等物の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加（7千2百万円）が、投資活動によるキャッシュ・フローの減少（4億5千9百万円）及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少（1億7千1百万円）を下回り、また、現金及び現金同等物に係る換算差額の減少（4百万円）による調整を行った結果、現金及び現金同等物の残高は、34億8千2百万円（前第2四半期連結累計期間は38億5千8百万円）となり、前第2四半期連結累計期間と比べて3億7千6百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は7千2百万円となりました。これは主に減価償却費（2億5千8百万円）、仕入債務の減少（2億9百万円）によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は4億5千9百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（4億4千6百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1億7千1百万円となりました。これは主に配当金の支払額(1億6千万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月28日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響度やその期間が見通せず、先行き不透明な経済情勢であるため、現時点においては、前回予想値(2020年5月29日公表)を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,199,350	3,649,772
受取手形及び売掛金	892,428	803,827
電子記録債権	294,824	225,682
商品及び製品	970,746	968,948
仕掛品	1,069,691	998,785
原材料及び貯蔵品	73,228	64,611
その他	179,201	333,935
貸倒引当金	△6,415	△5,719
流動資産合計	7,673,054	7,039,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,650,303	2,590,952
機械装置及び運搬具（純額）	880,845	832,172
その他（純額）	676,242	967,948
有形固定資産合計	4,207,392	4,391,073
無形固定資産	53,395	46,937
投資その他の資産		
投資有価証券	1,071,139	1,494,360
その他	51,727	26,613
投資その他の資産合計	1,122,867	1,520,974
固定資産合計	5,383,655	5,958,985
資産合計	13,056,709	12,998,829
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,844	270,661
電子記録債務	323,950	197,700
短期借入金	2,404,014	2,300,000
未払法人税等	57,285	17,361
賞与引当金	150,316	154,347
その他	545,924	718,321
流動負債合計	3,837,335	3,658,392
固定負債		
長期借入金	50,000	150,000
退職給付に係る負債	882,360	844,620
その他	756,471	883,783
固定負債合計	1,688,832	1,878,404
負債合計	5,526,167	5,536,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	44,762	44,762
利益剰余金	6,844,872	6,506,896
自己株式	△253,426	△229,815
株主資本合計	7,136,208	6,821,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436,031	731,769
為替換算調整勘定	△42,553	△82,324
退職給付に係る調整累計額	△34,811	△32,382
その他の包括利益累計額合計	358,666	617,062
非支配株主持分	35,667	23,125
純資産合計	7,530,541	7,462,031
負債純資産合計	13,056,709	12,998,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,126,081	2,814,947
売上原価	2,992,288	2,297,741
売上総利益	1,133,792	517,205
販売費及び一般管理費	731,507	661,309
営業利益又は営業損失(△)	402,285	△144,103
営業外収益		
受取利息	6,090	7,786
受取配当金	37,080	27,698
その他	22,557	13,923
営業外収益合計	65,729	49,407
営業外費用		
支払利息	15,537	15,339
為替差損	23,170	30,432
その他	0	0
営業外費用合計	38,707	45,772
経常利益又は経常損失(△)	429,307	△140,468
特別損失		
固定資産除売却損	57	18
特別損失合計	57	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	429,250	△140,487
法人税等	147,897	61,392
過年度法人税等	—	△17,981
四半期純利益又は四半期純損失(△)	281,352	△183,898
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	10,858	△11,400
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	270,493	△172,498

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	281,352	△183,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208,936	295,738
為替換算調整勘定	△64,872	△40,912
退職給付に係る調整額	8,997	2,428
その他の包括利益合計	△264,811	257,255
四半期包括利益	16,541	73,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,393	85,898
非支配株主に係る四半期包括利益	11,148	△12,541

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	429,250	△140,487
減価償却費	252,920	258,001
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△263	△680
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,284	4,068
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△61,903	△34,177
受取利息及び受取配当金	△43,171	△35,484
支払利息	15,537	15,339
為替差損益 (△は益)	△7,345	517
固定資産除売却損益 (△は益)	57	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,452	153,413
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△215,986	61,967
仕入債務の増減額 (△は減少)	111,791	△209,511
その他	81,270	2,661
小計	560,990	75,648
利息及び配当金の受取額	43,171	35,484
利息の支払額	△15,545	△15,362
法人税等の支払額	△84,998	△23,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	503,616	72,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△85,791	△100,513
定期預金の払戻による収入	85,516	85,011
有形固定資産の取得による支出	△310,312	△446,535
貸付けによる支出	△484	△200
貸付金の回収による収入	432	283
その他	△606	2,189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,246	△459,764
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△3,488	△103,385
自己株式の取得による支出	△215	—
リース債務の返済による支出	△9,023	△7,513
配当金の支払額	△160,001	△160,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,729	△171,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,200	△4,569
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36,841	△563,592
現金及び現金同等物の期首残高	3,822,019	4,046,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,858,860	3,482,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響により、経済環境は世界的に急激に悪化しており当社グループにつきましても、顧客からの受注の減少が顕著になって来ております。このような環境下においては、新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ不透明であり、経済活動への影響を予測することが非常に難しい状況となっております。このため、当社グループにおいては、第3四半期以降徐々に回復傾向になると見込んでいるものの、2021年3月までは当該影響が継続するものと仮定し、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による影響は、不確定要素が多いことから、翌連結会計年度以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	1,860,532	1,734,609	253,854	277,085	4,126,081	—	4,126,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,860,532	1,734,609	253,854	277,085	4,126,081	—	4,126,081
セグメント利益又は 損失(△)	170,668	36,608	△20,235	215,244	402,285	—	402,285

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	1,121,633	1,219,398	196,969	276,945	2,814,947	—	2,814,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,121,633	1,219,398	196,969	276,945	2,814,947	—	2,814,947
セグメント利益又は 損失(△)	△244,225	△83,305	△25,500	208,928	△144,103	—	△144,103

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。